

2025

教育環境  
レポート

郡山開成学園



## はじめに

本学は、故関口富左名誉学園長先生の「自然を凝視（みつ）めて師としよう」のローガンに基づき環境活動を行ってきており、自然に学ぶ、環境問題の重要性を直接学生、生徒に提供している。

自然に触れて感動する体験を通して、自然の変化などを感じ取り、好奇心や探究心をもって考え言葉などで表現しながら、身近な事象への関心が高まるとともに、自然への愛情や畏敬の念をもつようになる。

また、身近な動植物に心を動かされる中で、生命の不思議さや尊さに気付き、身近な動植物への接し方を考え、命あるものとしていたわり、大切にす気持ちをもって関わるようになる。

私たちは自然から多くのことを学び、幼少時代に培われた観察眼は年齢を重ねてからの学びに大きく影響する。

本学では幼稚園から大学生まで幅広い年代の子供たち、生徒、学生が学んでいる。この幅広い世代を対象とした環境委員会の教育環境活動を、健全な自己概念とアイデンティティの形成のために、そして、エコマインドを持った人材の育成と地球環境の調和・共存と持続的な環境の維持に繋げていきたい。

## 【家政学部 生活科学科】

### エコマインドを持った学生の育成

生活科学科ではエコマインドを持った学生の育成に取り組んでおります。

SDGs や環境の保護・保全活動の推進にはその担い手となる人材の育成が必要不可欠です。

生活科学科建築デザイン専攻では森林や林業について学び、森林の循環利用について実際の目で見えて感じる学修を重視しています。社会課題や環境問題を自分ごとと捉え、課題解決に寄与できる人材の育成を目指しています。

### 相双地方で発見！森林の恵みが活かせる SDG s 見学会

福島県の森林林業部との連携で「相双地方で発見！森林の恵みが活かせる SDG s 見学会」を実施し製材加工施設の見学や県産材を利用した建物の見学を行いました。



福島高度集成材加工センター FLAM

原木から大断面の集成材へと加工される様子を見学しました。学生たちは真剣に工場内を見学し時には質問をして、非常に関心が高い様子でした。



ふれあいセンターなみえ

先ほどの加工施設で加工された製材を利用した建物です。



はらまち認定こども園聖桜（せいおう）

県産材を利用している建設中の現場を見学しました。

施主の園長先生から県産材利用に関する思いや木材による心理的、身体的な効果をお聞きすることができました。建設中の現場はなかなか見学することができないので学生たちはとても参考になったようでした。

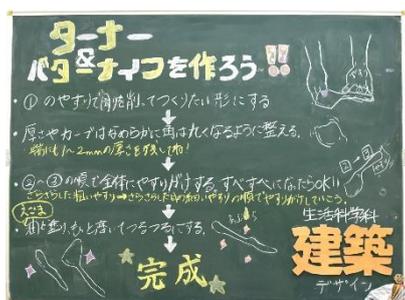


相双地方森林組合

製材加工するところだけでなく、建築資材としては使用されない樹皮をおが粉へと加工する工程を見学させていただきました。加工されたおが粉は畜産敷材として使用されるようで学生たちは加工工程をととても興味深そうに見学していました。

### 建築端材を使ったターナー、バターナイフの作成

建築デザイン専攻のもみじ会では、木工ワークショップを行いました。福島県森林自己学習支援事業の活動として、建築端材でターナーやバターナイフを制作し、参加された地域の方々に木材に触れる機会とモノづくりの楽しさを体感していただきました。



#### 木工ワークショップ（もみじ会）

来場者自身がターナーやバターナイフを完成させる木工ワークショップは連日大盛況でした。使う木の材質によって硬さや風合いが違ってきます。

このように、学生たちは大学で学んだことを地域に還元させています。他にも生活科学科ではSDGsに関する資料の作成・展示を行いました。

## 【家政学部 食物栄養学科】

### 裏磐梯・猪苗代地域の特定外来生物 ウチダザリガニの分布調査

ウチダザリガニは、生態系や人の生命・身体、農林水産業へ被害を及ぼす可能性が高いため外来生物法(特定外来法による生態系に係る被害の防止に関する法律)に基づく特

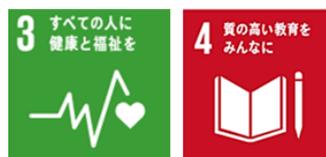


定外来生物 に指定されている。非常に攻撃性が高く、在来水生生物の捕食、隠れ家をめぐる競争、ミズカビ病(ザリガニペスト)の媒介、水生植物の切断、大きな巣穴を掘ることによる河岸浸食・土手の決壊などの影響を及ぼすとされている。本研究では、裏磐梯・猪苗代地域のウチダザリガニの分布状況と水質を調査した。2024年7月から9月にかけて4回、河川9地点を対象に調査を行った。捕獲調査と同時に水質調査も行った。水質調査は、裏磐梯地域の曲沢沼の上の池、猪苗代地域の菱沼川ワンド、長瀬川の河口の3地点で行った。調査項目は水温、溶存酸素、pH、Na<sup>+</sup>、K<sup>+</sup>、Ca<sup>2+</sup>、金属総量、アンモニウム、硝酸、残留塩素、フェノール、グルコース、リン酸態リン、亜硝酸、鉄、六価クロムの全16項目、すべて現場で測定した。捕獲調査の結果、裏磐梯地域の曲沢沼の上の池では、ウチダザリガニの幼体が4匹確認できた。その他、裏磐梯地域の長瀬川(ビジターセンター前)、川上青沼、秋元湖、猪苗代地域の菱沼川ワンド、長瀬川の河口、関都、観音寺川(高速道路下)では、いずれも確認できなかった。捕獲できなかった原因として、調査地点でのウチダザリガニの駆除体験が行われていたこと、河川改修工事や水路の土留めがされていたことが原因であり捕獲できなかったのではないかと考えられた。水質調査の結果は、ウチダザリガニが確認された曲沢沼近くの池の水温は18.4℃であり、確認されなかった菱沼川ワンドおよび長瀬川の河口の水温は25.0℃であった。また溶存酸素量が曲沢沼の上の池では10.25 mg/l、菱沼川ワンドでは5.73 mg/l、長瀬川の河口では7.21 mg/lであった。最も溶存酸素が多い地点は、曲沢沼の上の池だった。その理由として一見水の供給源がある

ように見えないが、土壌の下には小川がありその水の流れから酸素が供給されているのではないかと考えられた。一昨年の調査では裏磐梯、猪苗代地域にて大量に捕獲できた、また昨年の調査では1匹しか確認できていなかった。今年の捕獲状況も曲沢沼の上の池で幼体が4匹しか捕獲することが出来なかった。この捕獲数の減少が一時的なものなのか、本当に捕獲数が減少してきているのか、これからも注視して観察していく必要がある。

## 【地域貢献活動 ～家政学部 食物栄養学科の取り組み～】

### 鏡石町での「食と健康」食育事業



#### 【主な活動内容】

- ①実践しやすい減塩対策教室
  - ②町の小・中学校への食育出前講座
  - ③忙しい働き世代でも作れる簡単料理教室 など
- 今年度は鏡石町料理コンクールを実施。  
鏡石町ホームページでも報告している。



#### 【活動の様子】



【鏡石町料理コンクール】



【小学校への食育出前講座】



【実践しやすい減塩対策教室】



【中学校への食育出前講座】

## 葛尾村における地域特産物開発と食農教育

福島イノベーション・コースト推進構想による

～大学等の「復興知」を活用した人材育成基盤構築事業～として活動している

### 【事業のポイント】

遊休農地を活用して、学生や村民と共に葛尾村の特産物栽培(エゴマ)、特産物を活用した加工品開発、料理教室を通して、東日本大震災被災地での活動を担う人材育成と、若者の農業生産の尊さや感謝の心を育て、食育実践につなげる人材を育成するため事業である。

### 【主な活動内容】

- (1)エゴマ栽培、成分分析
- (2)エゴマ商品開発、料理教室の開催



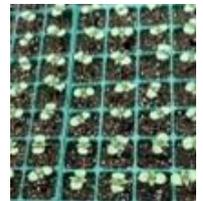
### 【活動の様子】

#### (1)エゴマ栽培



- ① 村内資源の有効活用 (SDGs) を図るため、葛尾村村内の(株)大笹農場様から堆肥(鶏糞)を提供していただき、土づくりからエゴマの栽培を実施!

1マスから数個出ている芽を1つだけ残すように芽をピンセットで抜き取る



#### ②エゴマの種まき作業



#### ③間引き作業



#### 【④定植作業】



#### 【⑤摘芯作業】



【⑥収穫作業】



【⑦とうみがけ】



【⑧種子の乾燥】

## (2) エゴマ商品開発、料理教室の開催

### ○商品開発

収穫したエゴマを活用して、村の特産品やレシピ開発を行っている。開発した商品は村のイベントに参加して紹介し、学生の村内での活動が、村の交流人口増加、地域活性化につながっている。

〔2024 年度に提案した新商品〕



参加した葛尾村内でのイベント名	提案商品
ツール・ドかつらお(4月21日)	エゴマ炊き込みご飯
あぜりあ市(6月16日)	エゴマメレンゲクッキー
標葉祭り(8月3日)	エゴマメレンゲクッキー(改良版)
葛尾村盆踊り(8月14日)	えごま蒸しまんじゅう
かつらお恵みの感謝祭(11月3日)	えごまシフォンラスク



【イベントの様子】



【炊き込みご飯】



【メレンゲクッキー】



【蒸しまんじゅう】



【シフォンラスク】

### ○料理教室の開催

村の活性化を目指し、村民との交流の場創出のため、「料理教室」を毎年実施しています。2024 年度は、令和7年2月9日に実施され、36 名が参加し、学生達は村民の皆さんと調理や試食を通して、楽しく交流をしました。



【村民からは郷土料理を教わり、学生らは開発商品のレシピを教え、お互い学び合いながら交流する貴重な時間でした】

## 【短期大学部 健康栄養学科】

健康栄養学科では、資源を無駄にしない取り組みについて授業の中で実践的に学び、学生自身が環境について身近に考えている。

### ① 屋上菜園活動



例年、農業体験の一環として、62年間の屋上を使用し屋上菜園活動を行っており、収穫できた野菜は調理実習や学生食堂や、学友会の「フードドライブ」の一環として学生へ提供している。このような農作業体験を通して、農家の方の大変さやフードロスへの理解を深めている。



JA 福島さくらさんや教員の指導のもと、定植している様子



屋上菜園で収穫できた野菜



フードドライブの様子

### ② 生ゴミの減量



調理実習などで食材を使用する際に、廃棄量を出来るだけ最小限にし、無駄なく使用する工夫をしている。



古紙で作ったごみ入れと受け皿で水切りをし、生ごみの軽量化を図っている様子

### ③ 廃油の再利用



調理実習等で出た油は、そのまま流しに捨てず、容器に入れ、今年度は、地域創成学科の齊藤弘久先生に手渡し、藍を使用した石鹼作りを行っている。



### ④ 減るしいレシピコンクールへの応募



昨年度に引き続き、学生達の積極的な応募があり、「生ゴミの減量」について考える良い機会となった。



### ⑤ 附属幼稚園へ資源の提供

卵・ミニトマトのパック、ラップの芯等の廃材を回収し附属幼稚園に提供した。



## 【短期大学部 幼児教育学科】

幼児教育学科では、学校行事やボランティア活動、同好会を通して環境活動を積極的にやっている。

### ① 「障害」への理解を深める時間



2年次に実施する「保育実習Ⅰ－Ⅱ、Ⅲ(施設実習)」に向け、授業の中で実践を通して「障害」について理解を深めた。



社会福祉：ポッチャ実践



保育実習：模擬レクリエーション  
左 転がしドッジボール  
右 風船バレーボール



### ② SDGsに関する壁面製作



もみじ会に向けSDGsに関する壁面を作成。もみじ会当日は来場者が壁面に興味を持ち、遊ぶ姿があり学生自身もSDGsを身近に感じる良い機会となった。



ゴミの分別を実際に体験できる壁面



同じ色同士を合わせると正しい分別方法が分かる壁面

### ③「ニコニコこども館まつり 2024 スーパー環太郎くんと5Rを考えよう」への参加

昨年度に引き続き、今年度も郡山市主催の「ニコニコこども館まつり 2024」に参加した。幼児教育学科は「スーパー環太郎くんと5Rを考えよう！！」という演目の中で劇や歌、ダンスなどに「5R」の内容を楽しく織り交ぜながら披露し、来場者みなさんに楽しんでいただくことが出来た。



### ④ ガーデニング同好会



幼児教育学科 柴田先生ゼミの「自然保育」のメンバーが中心となって「ガーデニング同好会」として活動を進めている。学生主体で楽しみながら、積極的に校内を美化することが出来た。



### ⑤ 表紙の再利用

サイズ別に収納棚に入れ、出来るだけ裏紙を利用している。



## 【短期大学部 地域創成学科】

### ① 廃油を使用した石鹼作り



健康栄養学科から廃油をいただき、「石鹼作り」を行っている。齊藤先生の藍染めの研究で使用し、この石鹼を使用することにより不純物が落ちて発色が良くなったとのことである。リサイクルにも繋がるこの活動は今後も引き続き行っていく。



## 【附属高等学校】

### 1 環境活動

① 花壇の整備、草むしり、落ち葉拾いなどを実施し、校舎内・外の環境整備を行った。



② 節水・節電・・・ポスターによる啓発やLED照明の導入



③ リサイクル活動・・・紙、空き缶、ペットボトルのリサイクル、エコキャップ活動



④ 食育活動・・・農業体験、各種コンクールへの参加



**【郡山女子大学 附属幼稚園】**

ワクワク園庭プロジェクト 2年目 ～子どもを理解し、園庭環境を考える～  
子どもたちの興味につながる仕掛けを作る



音のなるものやロープをつるす 枝や雑木などを集めておく 遊びに使える花を育てる

子どもたちのイメージに共感し、作り上げていく過程を大切にしてい



何に使えるかな？ 皆で力を合わせ作戦開始！ 何があるかな？

お風呂完成！

草地や落ち葉を残す（ゾーニングを意識して）



土壌が改善されることで生き物が集まってくる



蝶々がやってきて卵を産んだよ。さなぎになって蝶々になった

<まとめ>

～理想の園庭への道のりはまだまだ遠いが、今後もさらに園庭環境の改善を通して、  
子どもたちの深い学びにつなげていきたい～

## 【家庭寮】

下記項目について寮生・職員共に協力し取り組んでいます。

寮生数	1号館	2号館	合計
大学生	8	7	15
短大生	15	8	23
高校生	—	42	42
合計	23	57	80

### 節電・節水の呼びかけ



- ・ 掲示等による
  - 必要時以外こまめに消す
  - 水道を出したままにしない（1号館）



### 「エコキャップ収集運動」への参加

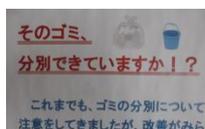


- ・ 今年度で15年目となる
- 一年間で約14000個収集



### ゴミの分別

- ・ 分別の呼びかけ
  - 掲示等による
- ※ 分別出来ないゴミは提示し注意



### 古紙回収

- ・ 回収ボックスを設置し分類・回収



### 環境対策

- ・ 寮内美化（毎日の清掃・大掃除の実施）
- ・ 屋内消毒、排水溝の清掃（業者実施）
- ・ 除草、玄関前プランター植栽（職員実施）



### 安全管理

- ・ 地震発生を想定した避難訓練実施
- ・ 空間線量測定、食品検査の実施
- ・ 災害時対応備蓄（食品・飲料水）
- ・ 防災についてのプリント配布
- ・ 避難経路、非常口の確認会を実施

### コロナウイルス感染症対策

- ・ 食事時の食堂内入室制限
- ・ 入浴時の入浴者数の制限
- ・ 消毒液の配布・設置
- ・ 健康観察（体温測定）の実施



訓練の様子

SDGs&エコアンケート	1位	2位	3位	4位
SDGsを知っていますか？	よく知っている (内容も知っている)	なんとなく知っている (内容は正しく知らない)	聞いたことがある	知らない
実際に行っているエコ活動は？	エコバック	ごみの分別	エコキャップ	節電
寮でもっと取り組みたいエコは？	フードロス	エコキャップ	ごみの分別	節電

## 【郡山女子大学ナチュラルライフスタイル部】

ナチュラルライフスタイル（以下NLS）部は2011年に発足した環境活動を主体的に行う学生サークルである。今年度は、「開成の杜復活プロジェクト」「どんぐりプロジェクト」など自然に関わる活動を行いました。

開成復活の杜プロジェクトでは、「アロマオイル蒸留所見学」、「自然観察会」を行いました。「アロマオイル蒸留所見学」は、南会津町にある「一十八日」にて、アロマスプレー作り体験・店舗見学を行いました。アロマスプレー作り体験では、10種類あるアロマオイルを自分好みに配合し、出来上がったアロマスプレーに名前を付けました！特に、クロモジやヒノキの樹皮の香りと、オレンジやレモンの爽やかな香りが印象に残っています。



アロマオイルの原料



アロマオイルの抽出



アロマスプレー作り

次に、「自然観察会」についてです。自然観察会は10月下旬に、本学が所有している総合教育園で、子供たちと一緒に「のこぎり体験・森の散策・手作りコースター体験」を行いました。子供たちは、きのこやどんぐりなどの植物に興味津々で、自ら手に取って観察していました。どんぐりを沢山拾ってご家族に見せに行く姿や、手作りコースター体験で楽しそうにお絵かきをする様子が可愛かったです。



自然観察会冒頭の挨拶



のこぎり体験



全体写真





表紙 : 土井 ゆかり

---